

# 小山市事務事業評価シート

令和3年度版

No. 15

1. 基本情報										3. Check - 評価 -															
<1> 事業・業務名		桜堤整備事業（河川愛護事業）				<2> 事業・業務の別		事業		実績評価		妥当性		<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か？		1. 妥当である									
<3> 選定基準		③ その他				<4> 継続業務・新規業務の別		継続業務						<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か？		1. 妥当である									
<5> 総合計画基本計画での体系		大項目		4 暮らしやすく住み続けたい 地域の活力を生かしたまちづくり		<6> 担当部(局)		建設水道部						<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか？		4. 市民ニーズによるものではない									
		中項目		4-2 みんなの暮らしを支える生活基盤整備		<7> 担当所属		道路課						<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か？		2. 検討を要する									
		小項目		4-2-4 道路		<8> 担当係等		保全維持係		<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか？		2. 向上の余地はない													
<9>根拠法令・計画等						<10>関連・類似事業		桜の里親づくり事業		<29> 総合計画基本計画施策への貢献度は大きいのか？		3. 少ない													
<11> 会計		一般		会計		<12>予算科目		8 款 3 項 1 目		<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか？		2. 向上の余地はない													
<13>実施期間		年度 ~ 年度		<14>全体事業費				千円		<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か？		4. 実施済み													
<15>実施手法		一部委託		「その他」の場合 ( )						<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか？		2. 検討を要する													
2. Do - 実施 -										<33> 総合評価		3. 改善の余地はない(現状維持が適している)		理由		桜堤として整備した区間を適切に管理することを条件に河川占用の許可を得ており、この許可条件を効率的に履行するために業務委託により事業を実施しているため、改善の余地は少ない。									
<16> 事業・業務の概要		桜の植樹に先立つ河川占用許可申請や盛土等の工事や整備した桜堤の管理（除草等）及び植樹した桜の管理（害虫駆除等）、枯れたり生育の悪い桜の植替用苗木の購入等を行う事業。								事業の改善		<34> 事業の課題 事業の改善点		増大した桜や桜堤を毎年、適切に管理するために膨大な費用がかかり、それらを確保するのに苦慮しており、更なる桜堤の整備は財政負担の増加につながる状況である。そのため、新たな桜堤の整備を一旦休止し、現有の桜堤について適切に管理を行い、その中で、例えば、維持管理費用について寄付を募るなどの方策を検討し、経費の縮減を図る。											
目的		<17>事業・業務の目的		思川堤防に桜を植栽することにより、連続した桜堤を整備し、思川の景観向上と周辺住民や訪れた人に安らぎや潤いを与える川づくりを目指す。																					
対象		<18>事業・業務の対象		思川の景観、桜の里親、桜を愛でる人、桜堤を通行する人																					
内容		<19>令和2年度の活動内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>河川の占用許可申請</li> <li>桜堤の盛土整備</li> <li>桜堤の除草</li> <li>桜の害虫防除</li> <li>桜の枝の剪定</li> <li>桜の枯木の植替え</li> </ul>																					
手段		<20>活動指標(活動した量や実績)		指標名		単位		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度											
								計画		実績		計画		計画											
				桜堤の除草		㎡		232,600		232,600		239,800		190,400											
				桜の害虫防除		回		3		2		3		3											
成果		<21>事業・業務の成果		桜堤を訪れた人にその風景を見てきれいと思ってもらう。						事業の方向性		<35> 1次評価		所属長		2. 変更		理由		事務事業を引き続き実施するが、予算の兼ね合いで桜堤の草が繁茂する期間が生じるなど、管理状態が理想形に少し及ばない状況もあることから、事業の進め方を工夫する必要がある。					
		<22>成果指標(活動の成果の量や実績)		指標名		単位		令和元年度												令和2年度		令和3年度		令和4年度	
				苦情件数		件		0												10		0		15	
資源		<23>投入指標(投入するお金の量)		コスト実績		単位		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度											
								計画(予算)		実績(決算)		計画(予算)		計画(予算)											
				千円		30,344		28,134		41,503		40,658		20,837											
				事業費等		千円		27,500		25,290		38,650		37,805											
				財源内訳		千円		0		0		0		0											
				国・県補助金		千円		0		0		0		0											
				地方債		千円		0		0		11,200		10,700											
				その他		千円		0		0		0		0											
				一般財源		千円		27,500		25,290		27,450		27,105											
				人件費		千円		2,844		2,844		2,853		2,853											
				正職員		千円 × 人役		7,108 × 0.4		7,108 × 0.4		7,132 × 0.4		7,132 × 0.4											
				他の職員		千円 × 人役		×		×		×		×											
				<37>実施計画・今後の方針		引き続き、桜堤の管理（除草等）及び植樹した桜の管理（害虫駆除等）、枯れ木の植替え等を実施する。						事業の計画		<38>活動・成果目標		桜堤を適切に管理し、思川の景観向上と周辺住民や訪れた人に安らぎの空間を作り出す。									